

ITビジネスの最前線へ



スーパーエンジニア 小谷 陽



スーパーエンジニア 本郷達夫

オープン系SIIの No.1企業へ

「自由につなぎ、自由に組み合わせる」。SII（システムインテグレータ）企業であるCTCのアドバンテージを表現するならば、こんな言葉がふさわしい。

Sun、Cisco、Oracleをはじめとする海外の有力ベンダーパートナー各社と連携し、顧客企業のニーズに沿って世界中から先進の製品・技術を導入。さまざまな製品を自由につなぎ、組み合わせることで大規模インフラを構築することがができる。そこがCTCの強みである。

あらゆる分野で ITの発展担う

昨年10月、伊藤忠テクノソリューションズとCRCソリューションズは合併し、伊藤忠テクノソリューションズ（略称CTC）が誕生した。両社のビジネス

さらにUNIX、Windows、Linuxというオープン系を代表するこれらOSのどのプラットフォームにも対応できる圧倒的なキャパシティと豊かな経験。CTCが「オープン系SIIのリーディングカンパニー」と呼ばれる理由はここにある。

領域の連携を強化し、サービスの向上と効率化を図ることにより、コンサルティング、システム提案から開発、運用・保守サポートに至るまで、ITのライフサイクルをトータルに提供できる企業としての新たな飛躍が始まったのである。グループ約60000人の社員を有するCTCが活躍する領域は広い。情報通信、金融、サービス、製造、流通などあらゆる業界・業種に渡り、顧客企業は約7500社。PCやケータイを利用するとき、金融サービスを受けるとき、モノを購入するとき、移動するとき、そして大学へ通うと

き、くらしの中で毎日出会う企業・団体とともに、ITの発展を支えているのがCTCである。

世界で通用する 人材を育てる

CTCが担うのは企業の「神経」ともいえるべき重要な部分。だからこそ、これからは顧客企業からのオーダーもより高度なレベルに移行するだろう。それを実現するカギを握っているのは「人材」に他ならない。CTCは世界9カ国約200社にもものぼるベンダーパートナーとの関係を活かした海外研修制度を始め、充実した人材育成・研修制度を整えている。中でも『スーパーエンジニア認定制度』は、ネットワーク・OS・セキュリティ・インフラ構築など特定の分野で「日本では右に出る者がいない」というレベルの人材を育てあげることが目的とした独自の制度である。すでに16人が『スーパーエンジニア』の肩書を持ち、ビジネスの最前線で活躍していることを報告しておこう。

CTCで信用力とキャリアを磨き、世界中どこに行っても通用する人材に育ってほしい。そしてそんな人材といっしょにCTCは成長したいと考えている。



●2007年1月にオープンした大崎オフィス



●堅牢な設備を誇るデータセンター



●オープンシステムの大規模技術検証拠点「テクニカルソリューションセンター」

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
〒100-6080 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル

<http://www.ctc-g.co.jp/>

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

CTC Seminar

申し込みはこちらから



www.ctc-g.co.jp/recruit